

技術と社会部門 2011 年度部門一般表彰 優秀講演論文表彰受賞者挨拶

優秀講演論文賞を受賞して

中島 円(慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科)

このたびは2011年度優秀講演論文表彰を頂き、誠に有難うございます。
本論文を高く評価して頂いた部門委員の皆様へ深く感謝致します。また、部門長であられます星朗先生、ならびに表彰委員会委員長の緒方正則先生、そして研究指導頂きました吉田喜一先生に、共同研究者を代表して、心より御礼申し上げます。

受賞対象になりました論文「System Design Approach derives a New type of Insurance」は、製品設計に広く用いられているシステム設計手法をサービス設計に適用したものです。論文では適用対象を日本の深刻な社会現象となっています「ひきこもり」を取り上げました。具体的な手法として「Brain storming」と「KJ method」、「Pugh Selection」を用い問題設定をし、「Scenario Graph」により解決策としての導かれた「ひきこもり保険」といったアイデアを創出しています。その後、メンタルケアや回復プログラムの費用負担支援などを提案し、アンケートと専門家へのインタビューにて検証を行いました。

私たちが在籍する慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント (SDM) 研究科では、システム設計手法を用いた社会システムへの適用研究を積極的に行っています。2008年開設とまだ日は浅いのですが、伝統ある機械学会の「技術と社会部門」で評価を頂きました事、今後の研究への大きな勇気となりました。

「技術と社会部門」におきましては、まだまだ活動を始めたばかりの私たちではありますが、今後もモノ作り、価値作りの新しい手法の研究に携わり、さらに大きくこの輪を広げたいと考えています。

あらためまして、皆様方の尚一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。